

東京都立文京盲学校 学校案内

令和8年度

アクセス



交通
JR・東京メトロ「飯田橋駅」(東西線、有楽町線、南北線)から徒歩7分
都営大江戸線「飯田橋駅」から徒歩4分
東京メトロ「後楽園駅」(丸ノ内線、南北線)から徒歩8分
都営三田線「春日駅」から徒歩13分

東京都立文京盲学校

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-6
TEL:03-3811-5714 (代表) FAX:03-3812-3446
URL:<https://bunkyo-sb.metro.ed.jp/site/zen/>



TOKYO METROPOLITAN
BUNKYO SCHOOL
FOR THE BLIND

自立と社会参加を目指し、 希望する進路を実現する

本校は、明治41年（1908年）に設立された私立「盲人技術学校」を前身とする歴史と伝統を誇る学校です。視覚に障害がある生徒一人一人が生き生きと活躍できるよう、丁寧な指導・支援を行ってまいります。

学校教育目標

- ・一般教養を豊かにし、生きる力を育み、自ら進んで必要な知識・技能の習得に努める。
- ・自己の障害を認識し、個性に応じた進路を切り開いていく力を獲得する。
- ・健康・安全に留意し、強い意志をもって、積極的に行動する。
- ・社会の一員であることを自覚し、礼儀正しく、責任をもって参加し貢献する態度を身に付ける。

育てたい生徒像

- ・知識や技能を身に付け、活用することのできる生徒
- ・自己や他者を認め、お互いの人権を尊重することのできる生徒
- ・目標に向かって主体的に取り組み、何事にもチャレンジする生徒
- ・自分の進路の実現に向け、自己を知り、目標に向けて真摯に努力する生徒
- ・自分でできることは自分で行い、基本的生活習慣の確立を目指す生徒

入学資格

- ・普通科は、中学校を卒業または卒業見込みの方。専攻科は、高等学校を卒業または卒業見込みの方。専攻科では入学にあたり高等学校卒業程度の基礎学力をみるための試験があります。
- ・「両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度なもののうち、拡大鏡等の使用によって通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難なもの」（学校教育法施行令第22条の3）に該当する方。
- ・普通科は、東京都に保護者と居住しており、入学後も都内に居住していること。専攻科は、東京都に居住しており、入学後も都内に居住していること。

普通科の教育課程

講座制

普通科には、様々な視力状況の生徒が在籍しています。見え方に応じて、点字や拡大文字、タブレット端末やルーペ、拡大読書器などの補助具や、自作教材などを使用した授業が行われます。

「分かる!」「できる!」授業で進路実現

「分かる」「できる」という成功体験を積み重ねて自己肯定感を高め、夢のある進路実現を目指します。そのために授業は学力や障害の状態に合わせて、A～Dの4つの講座に分かれて行なわれます。

A講座：基礎的・基本的な生活習慣の確立を目指した学習

B講座：基本的な生活習慣の確立と、基礎学力の習得に重点をおいた学習

C講座：基礎学力や応用力を身に付け社会自立を目指した学習

D講座：高等学校普通科の学年相応の学習

また、「自立活動」という授業があり、一人一人に応じて、歩行・点字・パソコン操作や日常生活動作などを学んでいます。

部活動

運動部・・・フロアバレーボール部、陸上部、サウンドテーブルテニス部など
文化部・・・美術部、音楽部、パソコン部など

行事

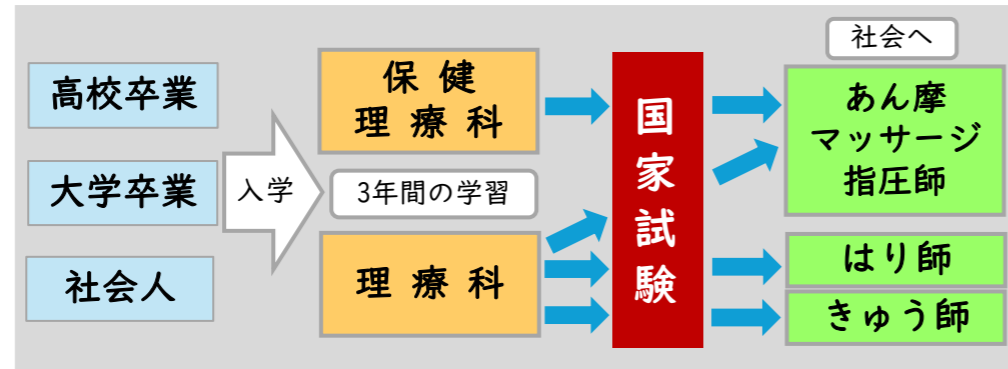
体育祭、文化祭、移動教室、修学旅行など



専攻科の教育課程

2つの教育課程

専攻科は、私立盲人技術学校以来、視覚に障害を抱えながらも智徳を備えた施術者を育成し、社会自立を目指した職業課程です。専攻科保健理療科（あん摩マッサージ指圧師）と、専攻科理療科（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師）の2つの課程があり、高等学校卒業後の方を対象とした、3年間の課程です。それぞれの課程修了者は、国家試験合格後、厚生労働大臣による免許を取得することができます。



授業

解剖学



経絡・経穴



国家試験対策



はり実技



きゅう実技



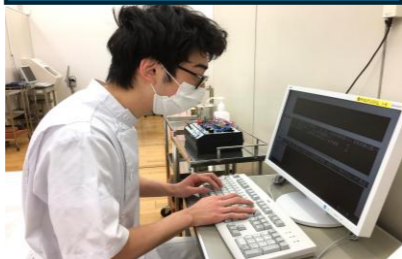
あん摩実技



患者施術



カルテ管理



症例検討



寄宿舎について

入舎について

- 入舎対象（東京都の入舎基準により通学困難と認められた本校の生徒）
 - ・島しょ地区に在住する場合
 - ・常に90分以上の通学時間を要する場合
 - ・視覚障害があり、通学における安全性を確保する必要がある場合
 - ・家族に複数の障害児（者）がいたり、保護者が長期の病気や家族の介護等の理由により、通学の付添いが困難な状況が長期で継続的な場合
- 定員：34名
- 入舎期間：1年間（4月～翌年3月）
※1年ごとの申請

教育目標

- 1 基本的な生活習慣の確立
- 2 自治会活動などによる自主性と責任感の向上
- 3 豊かな情操と社会性の育成
- 4 自己の健康や安全な生活習慣の習得

日課

下校	15:30～
ミーティング	17:45～
夕食	18:00～19:00
自習時間	19:30～20:30
消灯	22:00
延灯学習終了	24:00
起床	6:30
朝食	7:15～8:00
登校	7:50～8:30
入浴時間	下校後～21:30

生活実習室

生活実習室は一人生活を想定し、日常生活における生活経験の拡大、技術の向上を目的として、調理・調理器具の使い方、安全点検、買い物、電話・来客の対応の仕方などを学びます。



普通科の進路

普通科

進路指導の目標

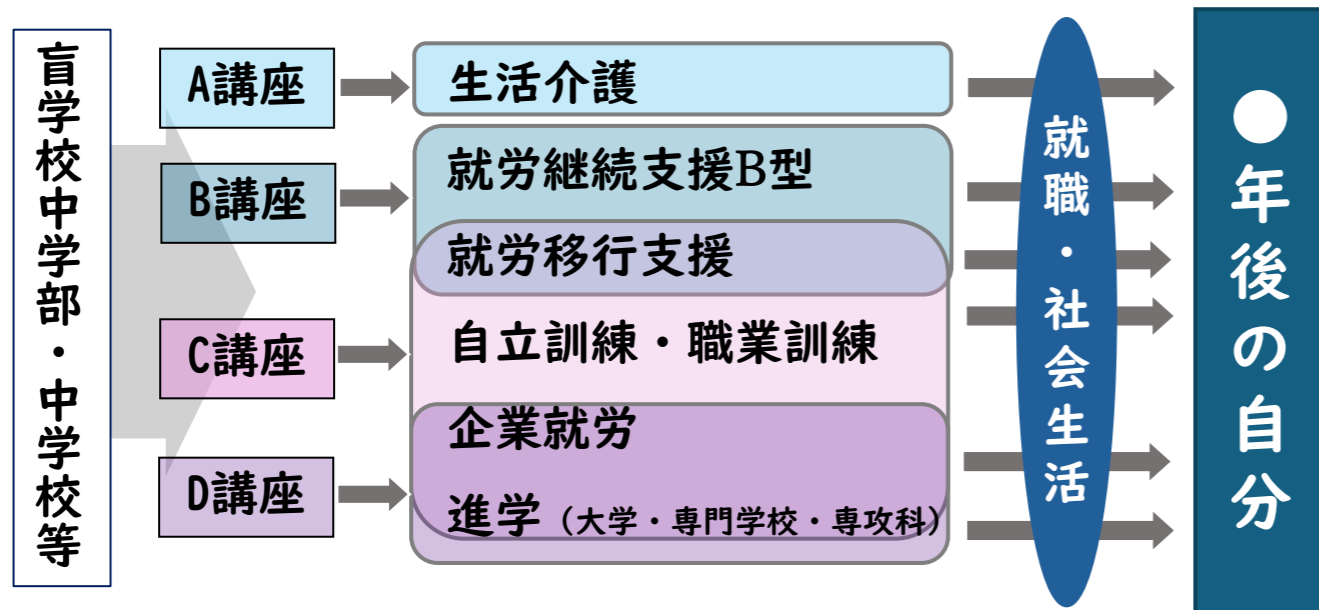
生徒一人一人が自己理解を深め、主体的に進路を選択・決定できる力を養います。
 高等部3年間に逆算して、基礎学力、コミュニケーション力、生活力など、必要な力を身に付け、計画的に進路に向けた準備を積み重ねます。



進路指導の流れ

	目標	内容
1年	自己を知るとともに、見学を中心に進路先について知る。進路を考える基礎を養う。	進路希望を決定し、実現に向けてより具体的な行動をする。卒業後の生活に向けて準備する。
2年	自分の適性・能力を見つめ、自分に合った希望進路を具体的に考える。	校内での進路行事、模試受験に加え、個々の進路希望の方向性に合わせて、見学・実習・関係諸機関(福祉事務所、ハローワーク、職業センター等)との相談・面談等を実施し自分の適性・能力に合った進路希望を具体的に考える。インターンシップを体験し、就労について考える。
3年	進路希望を決定し、実現に向けてより具体的な行動をする。卒業後の生活に向けて準備する。	個々の具体的な進路希望に合わせ、受験準備、見学・実習・関係諸機関(福祉事務所、ハローワーク、職業センター等)との相談・面談等を積極的に行い、進路決定をしていく。移行支援計画を基にしつつ、卒業後の生活に向けて準備する。

卒業生の進路先について



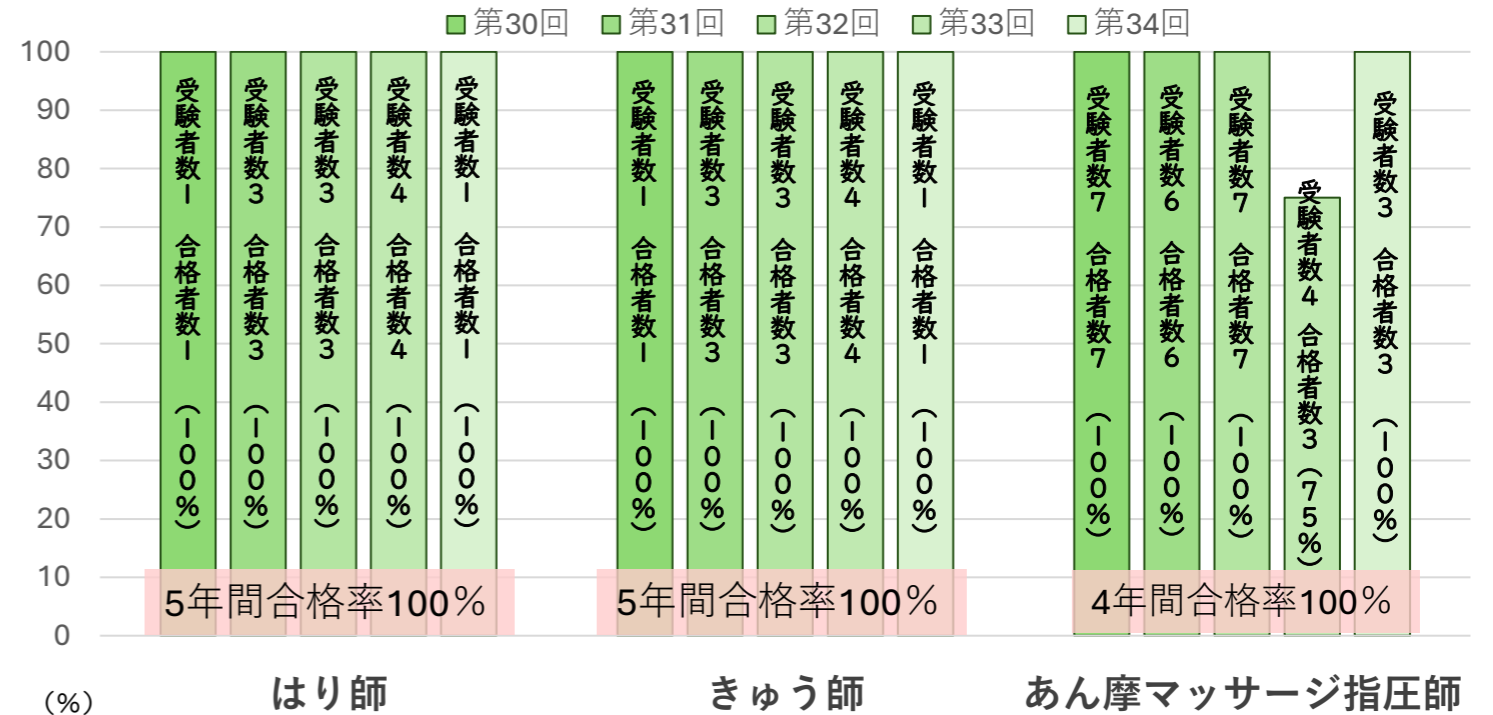
専攻科の進路

専攻科

進路指導の目標

生徒自身が自分の能力や適性を十分理解し、主体的に進路について判断する能力を養います。あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験合格に向け、豊かな知識・高い技術を身に付けるとともに社会自立を目指します。

国家試験合格率(過去5年)



過去10年間の卒業生の進路先

進路先	卒業時	現在
あはき関連就業		
治療院開業	0	4
治療院勤務	2	5
鍼灸接骨院勤務	3	1
医療機関	0	1
訪問マッサージ	4	5
入所型高齢者施設	2	2
通所型高齢者施設	3	1
ヘルスキーパー	19	23
その他三療関連職種	0	3
求職活動中	7	2
開業準備	12	6
一般就労 三療以外の職業	2	3
進学関連		
進学	8	2
進学準備	0	0
就労支援施設	7	8
国家試験再受験準備	4	1
在家	5	4
不詳	0	7
全卒業生	78	78

平成28年度から令和7年度の10年間に、本校の専攻科を卒業した生徒について、卒業時と現在(令和8年4月)把握している進路状況を掲載。